

津有ってどんなところ？

—暮らしやすいまちづくりにつなげるパンフレット—

目次

| | |
|-------------|----------|
| 地図で見る津有 | 1～2ページ |
| みなさんに聞きました① | 3ページ |
| 暮らしのまとめ | 4ページ |
| 魅力 | 5ページ |
| 地域性 | 6ページ |
| 施設 | 7ページ |
| 地域で活動する人たち | 8ページ |
| 産業 | 9ページ |
| みなさんに聞きました② | 10ページ |
| 歴史や偉人 | 11～12ページ |
| 前島密 | 13～14ページ |

私は進行役の「前島密」です。
ふるさと津有について一緒に
考えましょう。



地図で見る津有



知っているようで意外に知らない。近くにあるけど実は行ったことがない。
住み慣れた地域でも、知らない情報や行ったことがない場所はあるものです。
この機会に、津有の魅力を再発見しませんか？

(掲載ページ) 7ページ

上越総合運動公園テニスコート

謙信公武道館

12,13 ページ

戸野目小学校

戸野目保育園

5 ページ

雁木通りの町並み

保阪邸

9 ページ

株エッジシステムズ

7 ページ

津有地区公民館

9 ページ

オギハラ工業(株)

(有)西沢珍味販売

スタンプラリー
配置場所



荒屋分教場跡



凡例

市の指定文化財

公共施設

地域の宝



メイドイン上越

津有の文化遺産

※津有の文化遺産について「津有の郷 文化遺産めぐり」から掲載しています。(津有地区地域づくり協議会編集)

文化遺産の記事の詳しい説明は二次元コードからご覧いただけます。

また、現地には紹介看板が設置されています。



13 ページ

雄志中学校

7 ページ

前島記念館

9 ページ

(有)ヴィーダ(百福堂)

5 ページ

大ケヤキと出会いの清水

7 ページ

ファームセンター

高田東ゲートボールハウス

12,13 ページ

上雲寺小学校

上雲寺保育園

みなさんに聞きました ①

「津有は好きですか？」

津有地区の全世帯を対象に行ったアンケートでは、「好き」と答えた人の割合は約90%ですが、そのうち「大好き」は9%にとどまっています。

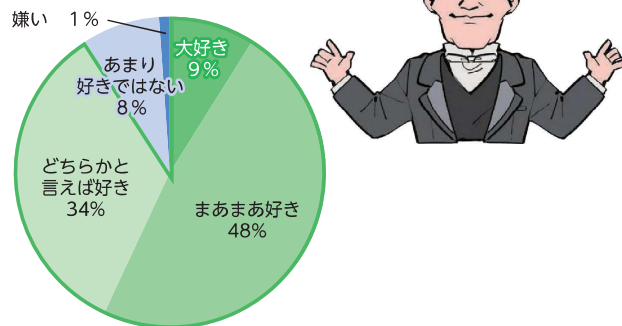
みなさんから津有地区を「大好き」になってもらえば、地域の課題解決や活性化に向けて一緒に取り組めるのではないのでしょうか。

アンケート結果から地域の方が津有地区についてどう感じているのかご覧ください。その後に地域の現状について紹介します。

Q1 津有は好きですか？

【津有地区アンケート調査】

対象：津有地区全世帯
(1,647世帯※)
期間：R5.2.20～3.12
回収率：54.2%
※令和5年2月時点

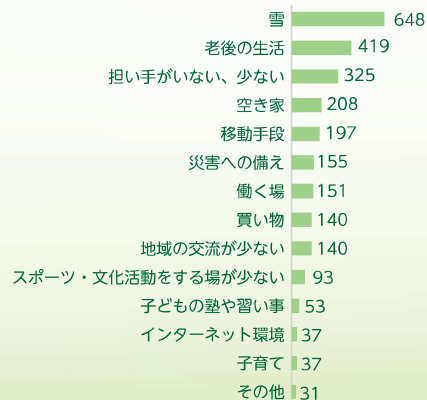


(単位：人) 複数回答可

Q2 満足していることは？



Q3 困っていることや心配していることは？

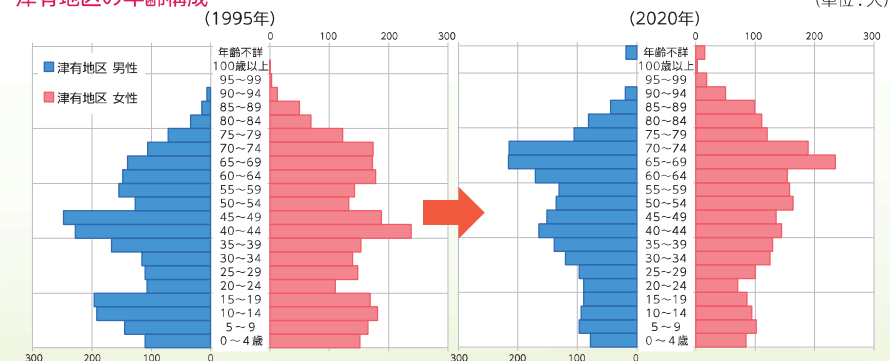


暮らしのまとめ

津有地区は、関川の東側に位置し、^{くしげ} 榑池川や飯田川などの河川の地形のほか、主要な国道、県道などによって区切られています。区域内には32の町内会があります。



津有地区の年齢構成



— (富士山型) から (つぼ型) へ —

全国的な傾向ですが、津有地区においても年齢構成の変化が進んでいます。

以前は、子どもの割合が高く、お年寄りの割合が低かったのですが(富士山型)、最近は少子高齢化の進行がグラフの形状(つぼ型)から見て取れます。(出所：国勢調査)

魅力

広大な田んぼの風景は圧巻！



津有から見る妙高三山

雁木通りの町並み

江戸時代の初め、高田城が造られた時代に、街に出る道の全ては高田城下を通ることになり、城下町の出入口は3か所に限られました。そのうちの一つであった稲田口から四ヶ所・戸野目までの松之山街道に沿って、町並みが形作られていきました。

戸野目の地名の由来は「戸・の・目」、つまり「集落や町・の・入口」とされています。



大ケヤキと出会いの清水

吉岡東市野口の諏訪神社には、推定樹齢500年の大ケヤキがあります。そして大ケヤキの根元から清水が湧き出ている、いつの頃からか「出会いの清水」と呼ばれるようになりました。

昔から、道行く人が喉を潤したり、近所同士の交流の場であったそうです。素敵な呼び名ですね。



旧津有村社 八幡宮

稲の八幡宮として知られ、昔は1市3部の相撲大会が行われていて、大変な賑わいだったそうです。



保阪邸



高田城址公園の蓮は、現在の当主の曾祖父に当たる保阪貞吉氏が高田藩士のためにレンコンを栽培・販売したのが始まりでした。離れの怡顔邸は寺院風玄関と主屋の数寄屋造りが対照的な豪農の邸宅です。内部には繊細な装飾が数多く施されています。美術品収集家でもあった保阪家には魅力的で珍しい逸品が数多くあります。

地域性

地域の行事「さいの神」

お正月の年中行事として、「さいの神」があります。この名には「幸神（さいわいのかみ）」の意味があるそうです。「餅やスルメを焼いて食べると風邪をひかない」や、「書初めを燃やし、紙が上空に舞い上がると字が上手になる」という言い伝えがあります。



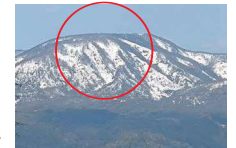
夏まつり・盆踊り

「八社五社」は、上越地方で唄われ踊り続けられている民俗芸能です。10世紀初め、関川を挟んで西に八社東に五社あった神社が、正式な神社として認められました。これを知った村人たちが喜び、唄い、踊ったのが、民謡「八社五社」と言われています。津有地区では「津有北部八社五社同好会」が伝承・啓発活動の中心的役割を担ってきました。



言い伝え

「鳥が高く飛んで帰るとき、明日は晴れ」
「西虹は雨、東虹は百日の日照り」
「南葉山に雪男（=雪形）が出たら稲の種まきをする」
雪男は種まき男と言われることもあります。同じく雪形では、妙高山にできる、はね馬が有名です。



郷土料理



「ちまき」は奈良・平安時代から、「笹団子」は戦国時代から食べられてきたそうです。笹には殺菌作用があることから、戦国時代の携行保存食（持ち歩きが出来る日持ちの良い食品）とされ、「上杉謙信公も携帯していた」など、色々な言い伝えがあります。



「笹寿司」は、クマ笹の上に酢飯をのせて具材や薬味を盛りつけたものですが、地域によっては、みょうがの葉を代わりに使うこともあるようです。主に、ハレの日の料理として作られ、お盆や祭りなど人が多く集まるときに振る舞われていました。



「のっぺ」は、雪深く、買い物もままならない冬場に、たくさん作り置きをして雪を冷蔵庫代わりにして鍋ごと雪の中で保存していたそうです。その名残りからか冷やして食べたりもします。地域の家庭料理として親しまれています。

方言



「とぶ(走る)」



「ねってた(寝てた)」



「先生にかけられた(当てられた)」



「ずる(動く)」

クイズ どの方言、わかります？



おらもうやだわ



しょうしい



ばかいいねかね



よわったねや

施設

謙信公武道館

2019年12月にオープンした県立の施設で、大道場、弓道場、相撲場等を有し、全国レベルの競技会等が開催される、県内有数の武道専用施設です。ランニングコース（200m）やトレーニングルームがあり、一般の方も気軽にスポーツを楽しんでいます。



上越総合運動公園テニスコート

2009年に行われたトキめき新潟国体に合わせて造られました。人工芝テニスコート16面（うち8面は夜間照明設備あり）があり、市内外の愛好家が爽やかな汗を流しています。シーズン中は毎週のように県内大会や北信越大会等が行われ、スタンドからの大きな声援で盛り上がっています。



前島記念館

郵便制度をはじめ明治維新期の日本にとって大きな功績を上げた前島密の生家跡であり、前島密の偉業を顕彰する石碑、銅像、記念館があります。



ファームセンター

地域活動の場として各種研修・会議・スポーツ・レクリエーション・料理講習などに、誰でも気軽に利用できます。



高田東ゲートボールハウス

競技愛好者たちの交流や、高齢者の健康づくりを目的としています。全天候型のゲートボールコートが2面あります。



津有地区公民館

地域住民の「学びたい」という社会教育を推進するため、各種教室の開催や、学習成果の発表機会の提供に中心的な役割を果たしています。



地域で活動する人たち

健康づくりリーダー 食生活改善推進員

生活習慣病予防を目的として、健康づくりのための活動を行っています。



津有地区 地域づくり協議会

すこやかサロン、広報「わが町つあり」の発行、地区文化祭の開催など地域住民の連帯を心がけて活動しています。



津有区地域協議会

地域の課題や活性化について話し合い、市長に意見として伝えることができます。



津有北部地区スポーツクラス



2019.12.16 上越タイムス掲載

上越市防災士会津有支部



戸野目公園芝ゲート ボール場運営委員会



津有地区公民館

公民館は、子どもから高齢者まで誰もが利用できるみんなの施設です。



ふるさと未来づくり事業



趣味・教養



青少年教育活動

スポーツ推進員



スポーツの実技指導はもちろん、スポーツ推進に向けた助言や提案、スポーツ教室の企画・運営などの幅広い活動を行っています。

運動普及推進員



身体の状態に合わせた運動習慣の定着につなげるための活動を行っています。

上雲寺小学校最寄会

地域と学校を繋ぐ活動を行っています。



津有北部振興会

北部地区の町内会が連携し、地域の諸問題を解決するため、活動しています。

戸野目スポーツ少年団



このほかにもたくさんの人が様々な活動をしています。皆さんもぜひ注目してみてください。はいかがでしょうか？

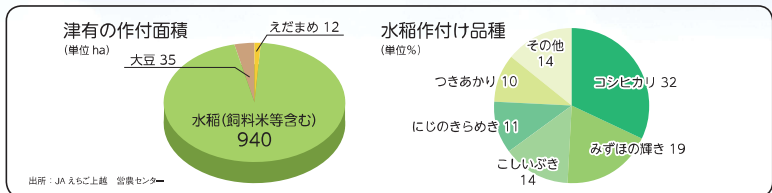


産業

津有の農業について教えてください！

- 「田んぼの広さはどれくらい？」
- 「お米以外で作っている食物は？」
- 「お米はどんな品種を作っていますか？」

地域の小学生から、津有の農業について質問があったので、えちご上越農協さんから回答をいただきました。

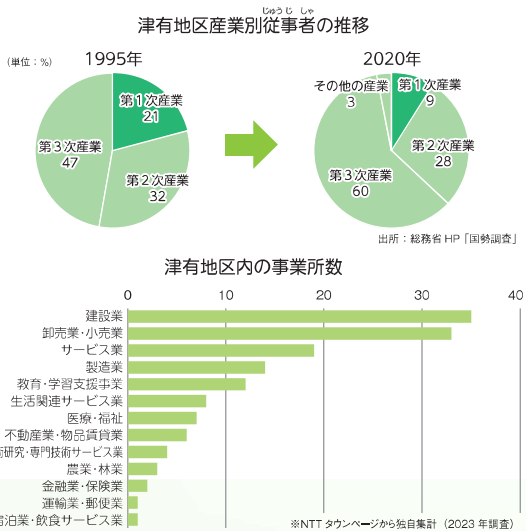


従事する業種の変化

右図のとおり、1995年から2020年までの25年間だけで、農業従事者を含む第1次産業の従事者は、21%から9%まで減少しています。

かつて地域の中心的な産業であった農業から他業種へと就業先が移行したのは、津有地区に様々な事業所があることも一因ではないでしょうか。

津有地区の事業所数を集計してみると、建設業をはじめ卸売業・小売業、サービス業、製造業など、業種が多岐にわたっているのが分かります。



地域ゆかりの特産品と工業製品

「メイド・イン上越」は上越市が厳選した認証商品です

特産品



有ヴィーダ (百々福堂) キッテサブレ



有西沢珍味販売 ワイン漬けソフトたら 他

工業製品



オギハラ工業株 親子式傾斜地草刈機 他



株エッジシステムズ スキー・スノーボード用エッジ

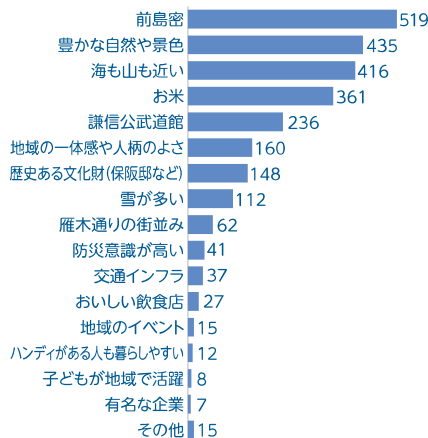
みなさんに聞きました ②

ここまで地域の現状を紹介してきました。再びアンケート結果をご覧ください。現状を踏まえながらアンケート結果を見ると、地域の課題が見えてきませんか？次ページからは地域の歴史を紹介します。過去から未来の展望を探ってみましょう。

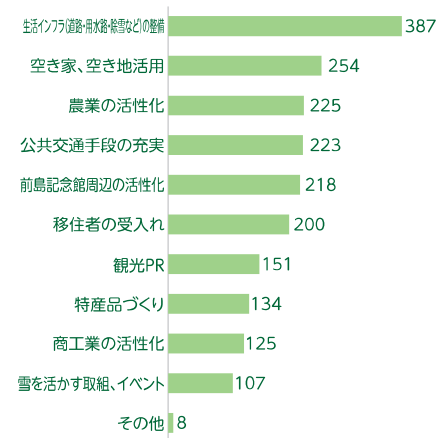


(単位:人) 複数回答可

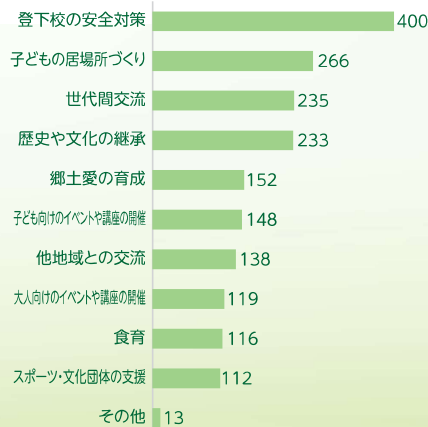
Q4 PRできる魅力や自慢は何ですか？



Q5 観光・産業の取組で重要だと思われることは何ですか？



Q6 教育・文化の取組で重要だと思われることは何ですか？



Q7 地域福祉の取組で重要だと思われることは何ですか？



歴史や偉人



「つあり」の名前は どこから？

正確には、いつから「つあり」と呼ばれたかは分かりません。一説には、元々「ツウ」と呼ばれていたものを、後にツアリと読み替えたと言われています。

「津有」が地名として 使われていった

古い文献によれば、この地域は「津有郷」であったそうです。1597年（慶長2）に作成された越後国頸城郡絵図には、津有郷の全域が描かれています。左の古絵図は越後国頸城郡絵図を書き写したものです。

津有郷の村々の記録

津有郷内にある村々に関する記述で、1597年（慶長2）以降の古文書・古絵図から、地図上に記してみました。

こちらから▶



出典：慶長二年越後国絵図
(新潟市立新津図書館所蔵)

津有郷から津有村、そして高田市へ

津有村は、1889年（明治22）に多くの村々が合併してできました。合併の理由は「本村八地勢平坦交通至便民情風俗相同シク」（この村は土地が平らで、交通の便もよく、人々の暮らし方や習慣は同じである）とされています。村名の由来は、この地が津有郷に属していたからです。

その後、津有村は人口6,700人の大きな村になりましたが、1954年（昭和29）に高田市から合併の申し入れがあり、翌年から高田市となりました。

それまでの間に様々な事件が起こり、また優秀な人材が大勢輩出されています。

スクープ！ 本当にあった津有の大ニュース



農民の反乱！【越後頸城質地騒動】

1722年、幕府の「流地禁止令」の扱いを巡り、津有の村々で騒動が広がり、高田藩は、農民に対して獄門、磔、遠島など重い処分を下しました。



今も昔も地面は揺れる！【宝暦の大地震】

1751年、マグニチュード7クラスの地震発生。戸野目では、地震の影響から火災が発生。20軒ほどが焼失し、10数名の死者が出たという記録があります。

なんと！ここは戦場だった！【川浦戦争】

1868年、飯田川を挟んで高田藩は津有方面、旧幕臣は三和方面に陣取りました。旧幕臣は砲弾を浴びせ、「北越戊辰戦争」の契機となる事件に発展しました。

時代を切り開いた偉人たち

偉人たちの詳しい功績はこちらから▶



中村 三代太郎
(1864～1946)
上雲寺小学校初代校長、
38年間勤務



池端 彌市郎
(1870～1944)
産業組合創設と
津有繩の奨励



篠宮 耕治
(1893～1979)
自動もみすり機の発明



柳沢 謙
(1907～1982)
医学博士
国立予防衛生研究所所長
世界保健機関(WHO)総会日本代表
結核予防の功績



小学校の歴史と先人の努力



戸野目小学校

四学びの道は 日本海
よしや航路の 遠くとも
渡らばなごか 越えさらん
人の精神は 春日山
史に読み得し 先人の
功もなごか 立てさらん
(中略)

一 頸城平の真ただ中
青垣廻る山脈を
紫とおく霞ませ
土肥え水の 利を得れば
野は萬頃の 目もはるに
なびく 黄金の 稲の波



上雲寺小学校

現在、両校ともに創立150周年の節目にあり、長い歴史を刻み続けています。戸野目小学校は、1873年（明治6）に戸野目の蓮休寺で授業が始まりました。保阪貞吉氏は、新校舎建設や教師の確保に私財を投じるなど、多大な尽力をされました。上雲寺小学校は、1874年（明治7）に下富川で開校しました。初代校長の中村三代太郎先生は、38年間勤務され学校の基礎を固められました。

長い歴史は、先人の努力の成果と受け止めるべきでしょう。



前島 密



そしてもう一人、津有の歴史を語る上で重要な人物。それは「前島密」です。現在の上越市下池部の上野家に生まれ、房五郎と名づけられました。

生後間もなく父が他界し、母と二人で長く暮らしていました。下池部や高田で過ごした幼少期に、母から教育を受けた経験が、その後の偉業につながっていったのでしょう。

それゆえ、彼はふるさとを愛していました。「非常に生まれ育った土地に対する思いが強かった。生まれ故郷のことと言えば、何をおいても協力を惜しまなかった。郷里の人から頼まれごとをされると、どんなことでも嫌とは言わなかった」そうです。

その一つの表れとして、津有地区の小中学校には、今も前島密ゆかりの品が残されています。そのほか、各小学校に寄付金を送ったとする記録もあります。

今も津有に残るゆかりの品とともに、彼の足跡を紹介します。

小中学校に残るゆかりの品

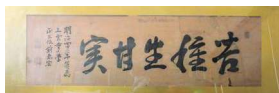
戸野目小学校



「悼信明義（とんしんめいぎ）」

人間の行くべき道筋を明らかにし、信じて疑わず勉むこと。

上雲寺小学校



「苦種（くしゅ）は甘実（かんじつ）を生む」

苦い種から甘い実が生まれる。苦難に耐えてよい結果が生まれる。



雄志中学校

生家近くにあり、掛け軸と共に胸像が残されている。

各地を旅した足跡

前島密の生涯は、旅の連続でした。その始まりは「津有」。その功績が記された石碑もまた、「津有」に残されています。



▲前島密の詳しい功績はこちら

【津有】 4歳



下池部に生まれ、高田城下に移り住む。母、貞から教育を受ける。

【糸魚川】 7歳



母と共に叔父の勧めで糸魚川へ。医学を志す。

【津有】 10歳



母と別れ、下池部の実家から高田の倉石塾まで歩いて通う。

【東京】 52歳



東京専門学校（現在の早稲田大学）の校長に就任する。

【東京】 37歳



前島の説得により、郵便業務を請け負う会社が設立する。

【イギリス】 35歳



先進国に赴き、郵便制度などを学ぶ。



【東京】 35歳
政府に仕出し、近代国政建設の立案をする。



【静岡】 33歳
維新後、旧幕臣として社会福祉に貢献する。



【鹿児島】 30歳
教師として、若者に英語を教える。



【函館】 23歳
帆船で二度の日本周回を経験する。



【津有】
地元の人達が、密の功績を称え、石碑を建立

私のふるさと津有。ここに暮らしていることを誇りに思っています。



男爵前島密君生誕之處 子爵 洪沢栄一書
石碑の裏側には、「日本文明の一大恩人がここで生まれた」から始まる前島密の功績を称える碑文が刻まれています。

【江戸（東京）】 12歳



単身、蘭学医を目指して、苦勞しながら勉学に励む。

【横須賀】 18歳



ペリー来航。国家の重大事に尽くす決心を固める。

【西日本各地見聞】 19歳



旅の途中で帰郷し、母から激励の言葉かけられる。

おわりに

このパンフレットは、「津有の皆さんに、地域のことをよく知ってもらい、暮らしやすいまちづくりにつなげたい」との思いから、津有区地域協議会が提案し、地域に関係する方々から協力を得て作成しました。

津有の皆さんが地域の魅力を共有し、互いに協力することで、地域の課題解決や活性化が進むことに期待します。

津有区パンフレット作成委員会

(構成団体)

津有区地域協議会、津有地区地域づくり協議会、上越市立戸野目小学校、上越市立上雲寺小学校、上越市立雄志中学校、前島記念館、郷土の偉人前島密翁を顕彰する会、上越市立歴史博物館、津有地区公民館

参考文献

津有の郷「文化遺産めぐり」、上越市史、頸城の民謡「八社五社」伝承のために、上越おもしろ方言考、頸城方言事典、ふるさと上越との絆 前島密、前島密 創業の精神と業績、はじめてのこれからの前島密、前島密献碑祭パンフレット、鴻爪痕（後半生録）、農林水産省HP「うちの郷土料理」

スタンプを全部集めて
津有マスターになろう！



パンフレットで紹介した5か所にスタンプ
があります。ぜひこの機会に津有を巡って
みましょう！

スタンプラリー



設置場所

- 保阪邸
- 前島記念館
- ファームセンター
- 謙信公武道館
- 津有地区公民館

スタンプは令和7年3月31日まで各施設に設置しています

令和5年10月発行（令和5年度地域独自の予算事業）

上越市 総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

〒943-8601 上越市木田1丁目1番3号

TEL 025-526-5111

二次元コードのリンク先ページは、予告なしに内容の変更又は削除若しくはURL（アドレス）の変更をすることがありますので、予めご了承ください。

各ページのテキスト・画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。